

2月 月例報告書

1. はじめに

2月に入り、雪が積もることもなくなり、冬の別れと共にこの留学生活の一つ一つがもうすぐ最後を迎えるということをヒシヒシと感じながら毎日を過ごしています。今月は私の人生において忘れられない月となりました。

2. Black Tie

「Black Tie」というダンスイベントがありました。毎年ドレスコードが決まっていて、多くの生徒がドレスを着て集まります。昨年フィンドレー大学に留学生として来ていた友人からこのためにドレスを持って行った方が良いと言われ、一着持って行っていたのですが、ついに着る日が来ました。当日を迎えるまでも、現地の学生から昨年写真を見せてもらっていたので、とても楽しみにしていたのですが、当日もみんな綺麗にドレスを着ていて、写真を撮ったり、ダンスをしたり、本当に楽しかったです。今後留学生として訪れる方々にはぜひ参加してほしいと思います。



3. Choir Concert

前期から履修しているコーラスの授業で現地でコンサートをすることを目的にチェコ共和国に行きました。私にとって初めてのヨーロッパで、乗り換えで訪れただけのオランダの空港で沢山お土産を買ってしまうくらい、本当に楽しかったです。コーラスのクラスの中で3つのグループに分かれて、観光地を訪れたのですが、街並みも本当に綺麗で、そこまで長くいたわけではありませんが、ヨーロッパが大好きになりました。広大な土地に幅広くまっすぐな道路が広がるオハイオとは大きく異なり、小さな街にカラフルな家や建物、歴史ある建造物がぎゅっと詰まっているチェコは本当にときめきがいっぱいでした。



4. Ash Wednesday

2/14(水)にキャンパス内にある教会にいき、人生で初めて「Ash Wednesday」を体験してきました。「Ash Wednesday」とはイースターの46日前、キリスト教の教会暦で四旬節が始まる日にカトリック教会で、キリストの受難・死を思い痛悔する印として信者の頭に灰をかけたり額に灰をつけたりする日だそうです。私はキリスト教徒ではないので、正直何か全くわからなかったのですが、ただコーラスの先生に来るかと思われたので、行きますと答え友人を連行し、教会に向かいました。歌を歌ったり、聖書に関する話を聞き、最後、一人ずつ前に出て牧師さんと少し話した後、額に水で溶いた灰で十字架を書いてもらいました。そのまま「Ash Wednesday」の儀式自体は終わったのですが、額にデカデカと十字架を描かれたことがないため、いつ落としたりしたら良いのかわからず、そのまま友人とキャンパスを徘徊しました。歩いていると「Ash Wednesday」に参加してきたのかと声をかけてくれる人もいて、好まない人もいと聞きましたが、キリスト教徒の人にとっては比較的一般的なイベントなのかなと思いました。この留学では、いろんなことを体験したいと思い、特にこの留学で興味を持った宗教に関するイベントにはできるだけ参加したいと思っているのですが、日本にいたら体験することのできなかつた体験をできていて、嬉しく思います。宗教について知識を深めることは、世界中の多くの出来事や世界中の人の価値観について理解を深めることにつながると思います。この留学で、できるだけ多くのことを体験して今後も学び続けていきたいです。

4. まとめ

今月はバレンタインデーがあったので、休日は友人たちとチョコレートを作って前期からお世話になっている先生に渡したり、3月にある International night に向けて練習したり、友人の家でゲームをしたり、なんだかんだ楽しくも忙しい日々を送りました。留学以前の自分は大学とアルバイト、遊びでいっぱいでしたが、今は大学と遊びだけではなく、ここでしかできない体験で充実しています。留学生活も終盤の終盤なので、日本に帰国後、この体験をどう活かせるのか考えつつ、残りの2ヶ月、目一杯楽しみたいです。

